

平成31年度予算の概要

(単位：千円)

会計区分	平成31年度	平成30年度当初	比 較
一般会計	21,240,000	23,990,000	△ 2,750,000
特別会計 (9⇒8会計)	10,621,330	11,638,730	△ 1,017,400
公営企業会計 (3会計)	3,757,291	2,268,987	1,488,304
合 計	35,618,621	37,897,717	△ 2,279,096

※ 簡易水道事業特別会計は、平成31年度から公営企業会計(水道事業会計)へ移行。

【一般会計】 平成31年度予算の主な特徴

◆ 大型建設事業が一区切りで27.5億円減、災害復旧費5.1億円を計上

- ・予算額は平成26年度から4年連続で増加してきたが、大型建設事業が一区切りとなったことから5年ぶりに減額し、(災害復旧費を除けば)ほぼ平年並みの規模となった。
- ・平成30年度に債務負担とした災害復旧費5.1億円を予算計上。

◆ 「安心・安全なまちづくり」のための施策

- | | |
|---|-----------|
| ①中消防署消防自動車(25m級屈折はしご自動車)購入事業 | 155,435千円 |
| ②河川整備諸経費臨時(河川現況調査・河道改修効果の検証等) | 14,566千円 |
| ③簡易無線機設備整備事業(消防団の通信手段確保 携帯無線機110台) | 16,640千円 |
| ④消防機械器具整備事業(災害用照明機器の整備等) | 7,259千円 |
| ⑤防災減災推進補助金(家具転倒防止・戸別受信機電池購入) | 5,000千円 |
| ⑥防犯カメラ設置事業(防犯協会助成金に上乗せ 5か所を予定) | 1,555千円 |
| ⑦防災・安全交付金交通安全事業(通学路の安全対策等) | 143,911千円 |
| ⑧防災テレビ会議システム更新13,848千円、ライフライン保全対策事業10,000千円 | など |

◆ 市税は微減、普通交付税は増収見込みに (当初予算比)

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| ①市税 4,465,994千円 (11,570千円減) | 固定資産税：地価下落などの影響 |
| ②普通交付税 7,436,420千円 (103,770千円増) | 公債費分の伸びなど |

◆ 市債発行額は16.2億円 25億円の大幅減

- ◎市債発行額1,622,107千円は、平成30年度(過去最大 4,155,730千円)から大幅な減額。
- ①過疎対策事業債 15事業合計 680,500千円
 - ・防災・安全交付金橋梁事業136,300千円、消防自動車(はしご車)購入事業 154,000千円
 - ②合併特例事業債 3事業合計 67,100千円
 - ・小学校トイレ改修事業31,100千円、中学校トイレ 8,800千円、県道改良負担金27,200千円
 - ③公共土木施設災害復旧債 157,300千円
 - ④臨時財政対策債 622,907千円 (55,977千円増) など

◆ 基金の計画的・政策的利活用

- ①財政調整基金 6億円を事業活用(予算計上は6億円+法定積立分2億円+財源調整2億円=10億円)
- ②公共事業基金 160,800千円 馬瀬振興事務所取壊74百万円、給食センター取壊42百万円 他
- ③清掃施設整備基金 129百万円 最終処分場法面崩壊防止85百万円、し尿処理施設整備24百万円他
- ④ふるさと基金 63,557千円 美輝の里(馬瀬)、ひめしゃがの湯(小坂)への支援策等
- ⑤子育て応援基金 20,754千円 市内中学生の給食費の負担軽減(1/2補助)に
- ⑥有線テレビ施設維持基金 28,603千円 有線テレビ施設の機器・システム更新費用 など